



# 有田市コミュニティ・スクールだより

## 学校運営協議会から様々な取り組みが...

学校運営協議会を設置している学校をコミュニティ・スクールといいます。有田市内の小中学校はすべてコミュニティ・スクールです。

学校運営協議会制度とは、主に地域住民や保護者の代表（約10名）が学校運営に参画する仕組みです。学校運営に社会の視点が入り、すべての学校運営協議会で活発な話し合いが展開される中、地域とともにある学校づくりに向けた取り組みに生かされてきています。

一例として、箕島中学校学校運営協議会で熟議された取り組みをご紹介します。



昨年来、学校運営協議会で「中学生の自尊感情を高める」をテーマに熟議してきました。6月29日の協議会では、中学生が公民館活動にボランティアで参加する機会をつくり、「役に立っている感」を実感してもらおうということになりました。



8月上旬、中学校を通じての募集で参加した5名が箕島公民館で、地域の青少年育成会の方とともに「アニマルランド」の土台作りに励みました。中学生ならではの発想に大人も感心。「上手やなあ」「すごいなあ」とたくさん声をかけてもらっていました。



8月下旬、「アニマルランド」の展示を行いました。約40名の子供たち（小学生以下）が1～2個ずつ出品してくれました。コロナ禍の中、今年は家庭での工作となりました。家族をはじめ地域の方も見に来てくれて、みなさん笑顔になりました（^\_^）



9月3日の学校運営協議会で、今回の取り組みの報告があり、写真を見ながら成果と課題を考えました。これからも引き続き、学校と地域が協働して中学生の自尊感情を高めていこうという意見が出されました。

協力してみんなが楽しめるよう工夫しました。一番うれしかったことは、私たちが作り上げた土台に小学生などが作品を置いてくれたことです。小学生の人たちも喜んでくれてやりがいを感じました。

中学生の感想より

だれかの役に立ててよかったです。作業中いろんな大人の人が、「すごい」「とてもいい作品ができてるね」など、たくさんほめてくれました。また機会があればボランティアに参加したいです。